

第三章 福生市教育委員会が目指す学校 ICT の実現に向けて

福生市立学校 ICT 推進計画は、ICT 環境整備及び ICT 教育推進に向けた理念計画であり、基本計画である。その具現化に当たっては福生市企画財政部との十分な調整が必要である。そこで、本計画書の 29 ページに示す「福生市立学校 ICT 推進計画実行体制」に基づき、目指すべき学校 ICT の実現に向けた実施計画を今後、計画的に展開していく。

1 ICT 環境整備

(図表 16) 学校 ICT 環境整備計画推進スケジュール (例)

		現状	導入準備	ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3	ステップ 4
学校情報環境	校務用 PC	校務用 PC 活用				中学校 校務用 PC 更新	小学校 校務用 PC 更新
	センターサーバ型 校務支援システム	既存システム 活用	導入検討	構築作業	運用開始		
	学校間・教育委員会 ネットワーク						
	学習支援サーバ		導入検討	構築	学習支援サーバ運用開始		
	校内 LAN		導入検討	構築	運用開始		
授業支援環境	実物投影機(書画カメラ)導入	既存 書画カメラ 利活用	活用のため の施策の 検討	書画カメラ 入替え 授業支援シ ステム導入	授業支援システム運用開始		
	タブレット PC タブレット	教材コンテ ンツ検討	機種選定 事前調査 設計準備	小学校 PC 教室の PC 更新	小学校 教員と 3・4 年生にタブ レット導入	中学校 PC 教室の PC 更新	中学校 教員と生徒 にタブレッ ト導入
家庭学習環境	保護者連絡手段	コミュニケーションツール運用					

(1) 福生市立学校 ICT 全体推進

福生市教育委員会教育部教育支援課と教育指導課が主管となり、本計画を推進する。あわせて、福生市立学校情報セキュリティポリシー（仮称）の策定、及び福生市教育委員会に情報システム担当の配置についても検討を行う。

(2) 学校情報環境の整備

① センターサーバ型校務支援システムと学校間・教育委員会ネットワークの導入
ア 計画の導入段階では既存の校務支援システムと校務用 PC を利活用する。

イ 小・中学校の校務用 PC 更新にあわせ、センターサーバ型校務支援システム、及び学校間・教育委員会ネットワークの運用を検討する。

② 小・中学校への学校内ネットワーク（校内 LAN）・学習支援環境の整備

ア 校内 LAN を各教室（特別教室・体育館）に整備することを検討する。

イ 学習支援環境設備（学習支援サーバ）の構築を検討する。

(3) 家庭学習を促進するための環境整備

① 家庭・地域との連携強化

ア 平成 27 年度以降も、引き続きコミュニケーションツールを運用する。

イ 保護者連絡を円滑に行うために、教員へは PC 操作、コミュニケーションツール操作、ユーザーアカウント管理、緊急・災害時対策の活動ルール等の習得を支援していく。

ウ 保護者へは、個人情報などの適正な取扱いを呼びかけ、情報モラルに関する知識の習得を促すとともに、学校と連携して児童・生徒への「情報モラル教育」を推進させる。

(4) 効果的な授業支援を実現するための環境整備

① 実物投影機（書画カメラ）の活用

ア 計画の導入段階では、現状、小・中学校の各教室に設備されている実物投影機（書画カメラ）を活用する。

イ 教科指導用 PC（タブレット）、授業支援システム、及び、小学校の英語教材を含めた、各機器に搭載する教材コンテンツの検討を行う。

ウ 授業支援システム、教科指導用 PC（タブレット）導入検討を進める。

エ 授業支援システム、実物投影機（書画カメラ）と教科指導用 PC（タブレット）

を接続させ、デジタル教材（静止画、動画、音声など）を画面に映し出すなど、授業に活用する。

② タブレット PC 導入（小・中学校共通）

ア 計画の導入段階では、児童・生徒用のタブレットの機種選定や今後の導入に向けての準備を開始し、キーボード脱着式ノート PC やタブレット PC に搭載するコンテンツや様々な学習サービスの導入に向け、事前調査や設計などの準備と、学校内ネットワーク（校内 LAN）の構築や学習支援環境設備（学習支援サーバ）の検討を行う。

イ PC 教室の PC 更新に併せ、PC 教室の PC をキーボード脱着式ノート PC に更新することを検討する。あわせて、持ち帰り学習への対応や、家庭学習を促進するための児童・生徒用タブレット PC の検討を開始する。

ウ 児童・生徒用タブレット PC の運用と学校内ネットワーク（校内 LAN）、学習支援環境設備（学習支援サーバ）の構築を検討する。

エ 児童・生徒用タブレット PC の運用開始にあわせ、学校内で行う授業内容の充実と、家庭学習での活用を促進するための支援を検討していく。

2 ICT 活用支援

(1) 教員の ICT 活用支援

- ① 計画の導入段階では、実物投影機（書画カメラ）の操作方法や効果的な活用方法、及び教材コンテンツの指導など、既存の ICT 機器を含めた全般的なデジタル機材の操作や利活用の仕方、ICT 機器に搭載される各コンテンツの活用に向けた支援を行っていく。
- ② ICT 支援員より ICT の効果的な活用方法や、ICT に搭載する教材コンテンツなども指導し、ICT の技術面に加えて、ICT を活用した「ICT を使って、いかに効果的で楽しい授業ができるか」という授業設計を考え実現させていく支援を継続する。
- ③ あわせて、PC 操作、学習支援サービス操作、ユーザーアカウント管理、緊急・災害時対策の活動ルール等の習得がスムーズにできるよう支援していく。
- ④ 既存の ICT 機器の操作に加え、教科指導用 PC の運用など、新たな機器の操作方法やデジタル教材、コンテンツの活用方法を指導する。
- ⑤ 各学校における「情報化推進リーダー」を育成し、他の教員への普及を促進させていく仕組みを構築する。ICT 機器の操作やシステム、教材コンテンツの活用方法を習得した「情報化推進リーダー」となる教員が存在することで、他教員の、ICT に対す

る理解を深めるきめ細やかな支援を行う。教員間の協力を深めていくことでの ICT への理解が促進することが期待される。

(2) 情報モラル教育

- ① 計画導入段階では、「教員、生徒の情報取扱」、「(保護者とのやりとりを踏まえた中での) 個人情報の取扱」を重点ポイントとした情報モラル教育を随時実施していく。
- ② 既に情報モラル教育は実施されており、今後、児童・生徒が ICT 機器を自由に活用することを踏まえ、さらに教科指導の中に取り入れていく。
- ③ 児童・生徒に ICT 機器を利用する場面と、その中で生じるリスクをイメージさせることにより、情報社会の中で自身の行動に責任を持つことや、情報社会の中に潜む様々な危険を回避し、情報を正しく安全に利用できるようにすることなどを指導していく。
- ④ あわせて、保護者にもコミュニケーションツールの利用などにもなう、個人情報の取扱に重点を置いた情報モラル教育の浸透を図っていく。

(3) 特別支援教育・日本語学級における情報化

- ① 特別支援教育について
 - ア ICT の推進は、特別な支援を必要とする児童・生徒の移動上の困難や、社会生活の範囲が限定されがちなことを補い、学校や自宅等にいながらにして様々な情報を収集・共有できるという、大きな社会的意義をもっている。
 - イ また、障害の状態や発達の段階等に応じて ICT 機器を活用することにより、学習上、又は生活上の困難を改善・克服させ、指導の効果を高めることができる有用な手段である。
 - ウ このような ICT に対応した特別支援教育を考えるに当たっては、個々の児童・生徒が学習を進めるうえでどこに困難があり、どういった支援を行えばその困難を軽減できるか、に重点を置いて ICT の有効性を福生市教育委員会主導で検討していく。
- ② 日本語学級について
 - ア 来日や帰国などで入学・編入学した日本語の習得が不十分な児童・生徒に、日本語の理解力・表現力を養うことによって、学校生活への円滑な適応を支えるために、日本語指導を実施している。現状、福生第一小学校のみ（平成 28 年度より福生第二中学校でも開級）に日本語学級が設置されており、通級による日本語学習を実施している。
 - イ 英語教育同様、実物投影機（書画カメラ）やデジタル教材による指導で、より理

解を深める授業運営が可能となる。また、時間的制約、日本語学級までの移動負荷を考慮するとタブレット PC による持ち帰り学習が有効な手段である。特別支援教育同様、ICT の有効性を福生市教育委員会主導で検討していく。

3

福生市立学校 ICT 推進計画実行体制

実行内容	主管	実行	オブザーバー
福生市立学校 ICT 推進 全体進行 P25 1- (1)	教育部 ・教育支援課 ・教育指導課	教育部 ・教育支援課学務係 ・教育指導課指導係	教育部 ・教育総務課 ・指導主事 企画財政部 ・情報システム課
学校情報環境の整備 P25 1- (2)	教育部 ・教育支援課 ・教育総務課	教育部 ・教育支援課学務係 都市建設部 ・施設課建築グループ	教育部 ・教育指導課 企画財政部 ・情報システム課
家庭学習を促進するた めの環境整備 P25 1- (3)	教育部 ・教育支援課 ・教育指導課	教育部 ・教育支援課学務係 ・教育指導課指導係	教育部 ・指導主事 ・教育総務課 企画財政部 ・情報システム課
効果的な授業支援を実 現するための環境整備 P25 1- (4)			
教員の ICT 活用支援 P26 2- (1)	教育部 ・教育支援課 ・教育指導課	教育部 ・教育支援課学務係 ・教育指導課指導係	教育部 ・指導主事
情報モラル教育推進検 討 P27 2- (2)	教育部 ・教育支援課 ・教育指導課	教育部 ・教育支援課学務係 ・教育指導課指導係	教育部 ・指導主事 企画財政部 ・情報システム課

4

福生市立学校 ICT 推進計画策定の体制

(1) 計画策定委員会・事務局定例会の開催

「福生市立学校 ICT 推進計画」は、検討組織である福生市教育委員会において案が作成され、年4回の福生市立学校 ICT 策定委員会を開催し、計画を策定した。

(2) 福生市立学校 ICT 推進計画策定委員

敬称略

No.	職名	氏名	備考
1	教育委員会教育部参事	石田周	策定委員長
2	教育委員会教育部教育総務課長	町田和子	策定委員
3	教育委員会教育部教育総務課学校施設係長	山中一郎	策定委員
4	教育委員会教育部指導主事	鈴木輝	策定委員
5	企画財政部情報システム課情報システム係長	田村浩司	策定委員
6	都市建設部施設課建築グループリーダー	田村道生	策定委員
7	福生市立福生第四小学校校長 (市立小学校長の代表)	山本豊彦	策定委員
8	福生市立福生第二中学校校長 (市立中学校長の代表)	上田忠之	策定委員
9	福生市立福生第二小学校校長 (市立学校情報教育推進委員会委員長)	榛原紀子	策定委員
10	福生市立福生第七小学校主幹教諭 (市立学校教務主任)	浅井博行	策定委員
11	福生市立福生第三中学校主幹教諭 (市立学校教務主任)	成尾弘行	策定委員
12	教育委員会教育部教育支援課長	野崎昌利	事務局長
13	教育委員会教育部教育支援課学務係長	岸野美幸	事務局
14	教育委員会教育部教育指導課指導係長	矢ヶ崎冬木	事務局